

＜概要＞青森市公立病院経営強化プランの点検・評価（令和5年度実績）【市民病院・浪岡病院】

令和6年11月20日
 民生環境常任委員協議会
 市民病院事務局・浪岡病院事務局

令和6年3月に策定した「青森市公立病院経営強化プラン」の数値目標及び取組内容について、令和5年度における実績をもとに点検・評価を行いました。

⇒ 結果については、院内で情報共有するほか、市内の保健衛生に関する有識者等で構成する青森市病院運営審議会や市議会へ報告を行うとともに、ホームページへの掲載等を通じて公表することとしています。

項目	市民病院			浪岡病院		
	項目	達成率	評価概要	項目	達成率	評価概要
第1章 経営強化プランの概要						
第2章 青森市公立病院経営改革プラン2016-2020の総括						
第3章 外部環境分析						
第4章 内部環境分析						
第5章 役割・機能の最適化と連携の強化	14 / 20	70.0%	<ul style="list-style-type: none"> 市民病院の役割・機能を果たすため、救急医療体制の整備など医療機能の確保や、医療の質の向上に取り組みました。 地域医療支援病院としての連携強化に関しては、県立中央病院をはじめとする各医療機関との連携を維持・推進しました。 住民理解の促進のため、市民病院のホームページへの情報掲載や、医療機関向けのセミナー等を通じて情報発信しました。 	8 / 15	53.3%	<ul style="list-style-type: none"> 救急搬送患者の受入や訪問診療・訪問看護等に取り組みました。 弘前大学医学部附属病院など各医療機関との連携の強化に努めました。 住民理解の促進のため、ホームページへの情報掲載や、浪岡地区を対象としたチラシの回覧等を実施しました。
第6章 医師・看護師等の確保・人材育成と働き方改革	7 / 9	77.8%	<ul style="list-style-type: none"> 弘前大学に対する医師派遣に係る要望や、看護師・薬剤師に係る県立中央病院の共同採用への参加を継続しました。 勤怠管理システムを導入し、労働時間の適正管理に努めました。 病院職員に対する資格取得や研修受講の機会の確保や、臨床研修指定病院として、研修医の受入を行い、医療従事者の育成に努めました。 	4 / 5	80.0%	<ul style="list-style-type: none"> 弘前大学に対する医師派遣に係る要望や、看護師・薬剤師に係る県立中央病院の共同採用への参加を継続しました。 医師事務作業補助者による診断書の代行入力などにより、業務負担の軽減に努めました。 病院職員に対する資格取得や研修受講の機会の確保や准看護師を目指す学生の実習受入を通じ、医療従事者の育成に努めました。
第7章 経営形態の見直し			今後の経営形態について、令和5年度は、それぞれの経営形態による職員の身分の取扱いなどについて職員団体等と情報共有を図るなど、相互の理解を深めました。令和6年度中に策定する共同経営・統合新病院に係る基本構想・計画において、職員団体等の意見も踏まえ決定することとしています。			統合新病院との連携も見据え、市民病院をはじめとした近隣の公立病院との連携強化に努めたところであり、引き続き、地方公営企業法の一部適用による経営を継続し、経営の健全化を目指しながら地域医療の確保に向け取り組んで行くこととしております。
第8章 新興感染症の感染拡大時に備えた平時からの取組	0 / 1	0.0%	令和6年2月、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、青森県と新興感染症等の発生時における体制確保に係る協定を締結しました。			令和6年2月、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、青森県と新興感染症等の発生時における体制確保に係る協定を締結しました。
第9章 施設・設備の最適化			建物の老朽化が進む中、医療の提供に支障がないよう、適時適切な修繕等対応を行いました。			定期的な設備の保守点検を行い長寿命化を図るとともに、保守期間満了になった医療機器の更新を行ったほか、適時適切な修繕対応を行い、医療の提供に支障がないよう努めました。 また、デジタル化への対応については、電子処方箋を導入し、国の医療DXの方向性を踏まえた取組を進めました。
第10章 経営の効率化等	6 / 19	31.6%	令和5年度決算において、収益や患者数がプラン上の見込みを下回ったことなどにより、数値目標の達成状況は低い結果となりました。 市民病院の経営については、今後も引き続き非常に厳しい状況が予想されることから、収入確保や経費削減など、経営の効率化に一層注力してまいります。	5 / 19	26.3%	令和5年度決算において、収益や患者数がプラン上の見込みを下回ったことなどにより、数値目標の達成状況は低い結果となりました。 浪岡病院の経営については、今後も引き続き非常に厳しい状況が予想されることから、収入確保や経費削減など、経営の効率化に一層注力してまいります。
第11章 収支計画等			令和5年度決算においては、病床確保に係る補助金が減となったものの、純損益及び資金不足の状況については、プラン上の見込みを上回る結果となりましたが、市民病院の経営については、今後も引き続き非常に厳しい状況が予想されることから、収入確保や経費削減など、経営の効率化に一層注力してまいります。			令和5年度決算においては、医療収益はプラン上の見込みを下回ったものの、一般会計からの繰入金が見込みを上回ったことなどにより、純損益及び資金不足の状況については、プラン上の見込みを上回る結果となりましたが、浪岡病院の経営については、今後も引き続き非常に厳しい状況が予想されることから、収入確保や経費削減など、経営の効率化に一層注力してまいります。
第12章 進行管理等						